

## 平成24年度 農業総合研修会開催のお知らせ

講演テーマ:「TPPをめぐる政治情勢」

講師: 政治評論家 森田 実氏

開催日時: 平成24年12月12日(水) 15時~16時45分

開催場所: 北農ビル19階 第2~4会議室  
札幌市中央区北4条西1丁目

問い合わせ: 一般社団法人 北海道地域農業研究所  
電話: 011-859-6010

ファックス: 011-852-6663

E-Mail: kobayashi@chiikinouken.or.jp 担当: 小林

### 掲示板

研究会・研修会等への報告者・講師の派遣  
(平成24年7月~9月)

#### ○「道北母親大会」

主催 母親大会実行委員会  
とき 平成24年7月1日  
講演 太田原 高昭  
(当研究所・顧問)

#### ○「2012年JICA中央アジア『有機農業コース』研修会」

主催 JICA札幌・北海道農業公社  
とき 平成24年7月9日  
講演 黒澤 不二男  
(当研究所・特別参与)

#### ○「コープさっぽろ理事研修会」

主催 生活協同組合コープさっぽろ  
とき 平成24年7月14日  
講演 太田原 高昭  
(当研究所・顧問)

#### ○「北海道母親大会」

主催 母親大会実行委員会

とき 平成24年7月29日

講演 太田原 高昭  
(当研究所・顧問)

#### ○「日韓農業シンポジウム 栗山大会」

主催 栗山町  
とき 平成24年8月10日  
講演 太田原 高昭  
(当研究所・顧問)

#### ○「全道庁職員組合家族会」

主催 全道庁職員組合  
とき 平成24年8月24日  
講演 太田原 高昭  
(当研究所・顧問)

#### ○「旭川農村婦人大学」

主催 旭川市農政部  
とき 平成24年9月4日  
講演 太田原 高昭  
(当研究所・顧問)



# DATA FILE

## 関連事項/ DATA

有限会社フードアトラス  
〒060-0001  
札幌市中央区北1条西3丁目  
荒巻時計台ビル  
☎・FAX 011(280)7557

東京農業大学オホーツク実学センター  
〒099-2493  
網走市八坂196  
☎ 0152(48)3889  
FAX 0152(48)3839

生活協同組合 コープさっぽろ  
〒063-8501  
札幌市西区発寒11条5丁目10番1号  
☎ 011(671)5601  
FAX 011(671)5730

北海道立農業大学校  
〒089-3675  
中川郡本別町西仙美里25-1  
☎ 0156(24)2121(総務部直通)  
FAX 0156(24)2421

本別町役場  
〒089-3392  
中川郡本別町北2丁目4番地1  
☎ 0156(22)2141  
FAX 0156(32)3237

本別町業協同組合  
〒089-3334  
中川郡本別町北5丁目2-1  
☎ 0156(22)3111  
FAX 0156(22)3557

一般社団法人 北海道地域農業研究所  
〒062-0041  
札幌市豊平区福住1条4丁目13番13号  
☎ 011(859)6010  
FAX 011(852)6663  
HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>

いたたく。  
森田氏のTPP反対論はまさに正論である。  
●優勝おめでとう。次は日本一だ、ニッポンハムフェア  
イターズ。  
(小林 久人)

○「農業・農協問題研究所北海道支部特別講演」  
主催 農業・農協問題研究所  
北海道支部  
とき 平成24年9月7日  
テーマ JA全国・北海道大会  
議案について  
講演 入江 千晴  
(当研究所・常務理事)

○「平成24年度豆類セミナー・豆類産地懇談会」  
主催 日本豆類振興会・日本豆類価格安定基金  
とき 平成24年9月13日  
テーマ 豆類の需要拡大に向けて

コーディネイター 黒澤 不二男  
(当研究所・特別参与)

○「JICA『農民参加による農業・農村コース(ベトナム)』」  
主催 JICA(社)滝川国際交流協会  
とき 平成24年9月13日  
テーマ 農村地域における農協の役割  
講演 中村 正士  
(当研究所・特別研究員)

◆編集後記◆  
●政局が忙しくなっている。秋号

が発刊されたとき総選挙に入っているのだろうか。TPP問題も頓挫し、年内に大きな動きはなさそうだ。米韓でのFTA発効後の韓国農業の現状を見て「対岸の火事」と楽観できない。  
消費増税が決まった。苛政は虎よりも猛なり。  
●今年の記録的残暑は厳しかった。秋以降の健康管理に注意。  
小麦の収穫が終わった。良品質と平年作は確保できたようだ。  
水稲も全国的に作況は平年以上だ。  
●観察では「日本人の水の認識」

を話題にした。世界的に水をふんだんに使える国は極めて稀である。日本人はこの有難味を分かっている。すべての食べ物には水からできている。私たちは水を食べて生きている。まさに「命の源」だ。  
●会員紹介ではコープさっぽろの取り組みを掲載した。地域における社会的役割は非常に大きい。すべての取り組みが高い評価を得ているが特に「高齢者の見守り」と「環境活動」は道民として誇りが持てる。  
植樹活動も、木を育てるのは人を育てることである。  
●農業大学の教育を掲載した。地域が後継者を育てる。地域のつながりがいかに大切  
●二月の農業総合研修会では著名な政治評論家 森田実氏を招いて「TPPと政治情勢」について講演を